

編集方針

編集方針

「統合報告書2025」は、株主・投資家ならびにステークホルダーの皆様へ、年次業績を報告するとともに、「変革」と「挑戦」で企業成長に突き進むニッポンハムグループの現状を知っていただくことを目的に発行しました。また、価値創造を軸とする「VBM」の推進や、たんぱく質の可能性を追求する新たな「R&D戦略」の策定など、中長期的な価値創造に向けた取り組みについても詳しく説明しています。本報告書をきっかけにご理解を深めていただき、より深い対話に結び付けることができれば幸いです。発行にあたっては、IFRS財団「統合報告フレームワーク」や、経済産業省が提唱する「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」を参考にしました。



対象範囲

日本ハム(株)および国内外の連結子会社71社(2025年4月1日現在)

対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

掲載内容は、一部報告対象期間以前・以後の情報を含みます。

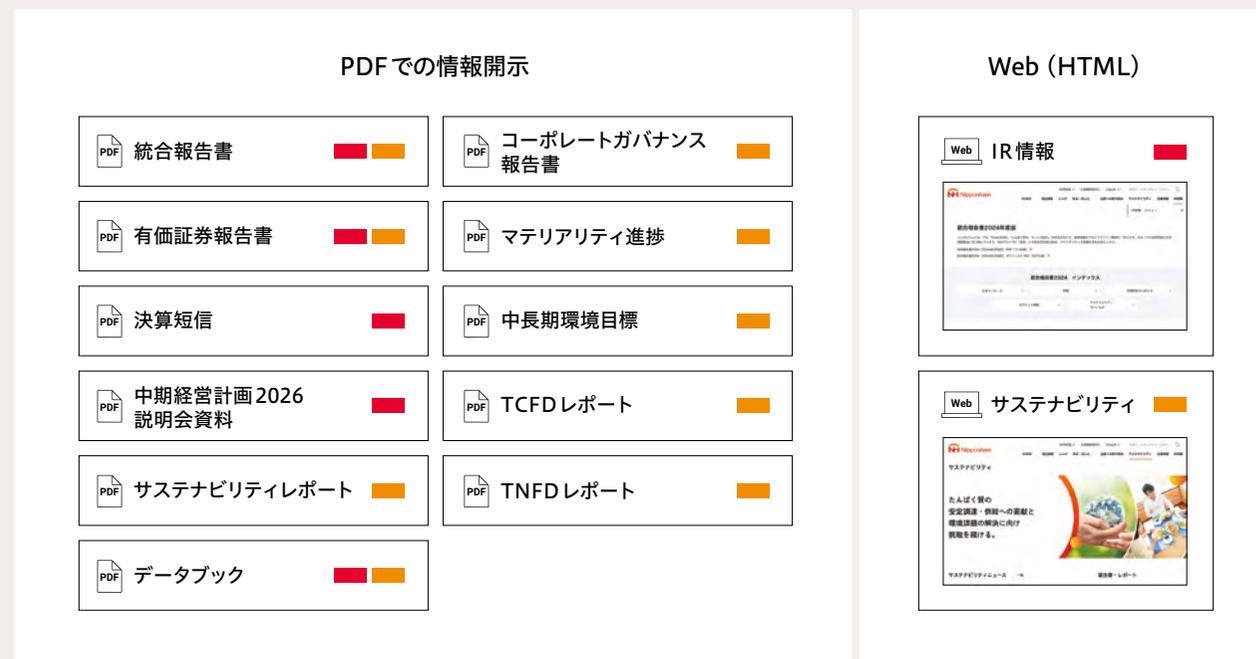
会計基準に関する注記

2019年3月期第1四半期連結会計期間の連結財務諸表より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しています。

当社は、2024年3月期第1四半期連結会計期間より、従来「その他」の区分に含めていたボールパーク事業について、重要性の高まりを勘案し、独立して記載しております。

情報開示体系と統合報告書の位置付け

■ 財務情報 ■ 非財務情報



見通しに関する注意事項

この統合報告書には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見通しです。また、経済環境・市場動向・為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しにのみ全面的に依拠することはお控えいただきますようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

お問い合わせ先

〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
 日本ハム株式会社 VBM推進室 TEL:03-4555-8052 メールアドレス:nhfoods.ir@nipponham.co.jp

目次

Chapter 1

変革する ニッポンハムグループ

P.07 | 社長メッセージ



**“企業成長に向けて
挑戦を先導し続ける”**

P.13 | 企業理念とあゆみ

P.15 | たんぱく質がもたらす価値とは

P.17 | 事業概要

P.19 | 副社長メッセージ



**“バリューチェーンの
価値を
最大化させる”**

P.23 | 特集01 新たなR&D戦略の策定

P.25 | 特集02 共創の進化と深化

P.26 | ステークホルダーコミュニケーション

Chapter 2

価値創造の戦略と事業

P.27 | 価値創造プロセス

P.29 | 資本とバリューチェーン

P.31 | VBM(価値創造経営)推進担当役員メッセージ



**“長期的価値創造を
支援・実行する”**

P.34 | 中期経営計画2026の進捗

P.39 | 人事担当役員メッセージ



**“全社の変革に
向けて
挑戦する人、
組織へ”**

P.41 | 人財戦略

P.43 | 加工事業本部

P.47 | 食肉事業本部

P.51 | ボールパーク事業

Chapter 3

サステナビリティと ガバナンス

P.55 | サステナビリティマネジメント

P.57 | マテリアリティの目標・進捗

P.58 | バリューチェーンにおけるESGの取り組み

P.67 | コーポレート・ガバナンス

P.71 | 取締役会議長・社外取締役による座談会



取締役会議長

“企業としての持続可能性を高めていく”

社外取締役

**“経営の監督という責務を果たし、
培った知見の提供で企業価値向上に貢献”**

Chapter 4

企業データ

P.87 | 連結財務データ(10カ年)

P.89 | 非財務データ(10カ年)

P.90 | 企業情報

P.91 | 株式情報